

Ⅱ 令和8年度学校教育目標・学校経営計画

1 教育目標

教育基本法の精神に基づき、人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として、自ら学ぶ意欲を育て、高い知性と豊かな情操を身につけるとともに、郷土の自然・文化に理解と誇りを持ち、創造性に富む心身ともに健全な生徒を育成する。

【普通科のめざす生徒像】

興味・関心や進路に応じた多様な選択科目と少人数授業を実践し、確かな学力と進路の個別指導を行う。自然環境科の科目のうち基本的な科目を学習し、豊かで活力ある地域社会に貢献できる人材の育成を図る。

【自然環境科のめざす生徒像】

やんばるの豊かな自然の中で、やんばるの山・海・川と生き物に関する学習や体験的な実習および研究を行う。自然環境や環境調査に関する基礎的な知識や技術を習得し、環境と生き物を大切にする人材の育成を図る。

2 学校経営方針

- (1) 全職員の協働体制と民主的な学校運営のもとに、教育目標の達成に努める。
- (2) 校訓の精神に則り、教育活動全体の取組の充実を図り、生徒の自己実現を支援する。
- (3) 基本的生活習慣の確立を図り、安心・安全な学校生活及び寮生活の充実に努めるとともに、危機管理意識の向上を図る。
- (4) 自主的、自発的な活動を積極的に支援し、主体的に行動する生徒の育成に努める。
- (5) 保護者、同窓会、地域社会と連携し、地域から信頼される開かれた学校づくりに努める。
- (6) 全職員が連絡・調整・相互支援を心がけ、日々の教育活動に当たることにより、働きがいのある職場環境づくりを推進する。
- (7) 職員の資質能力向上と教育公務員としての使命感・自覚高揚に努める。

3 本年度の重点事項

- (1) 本校の教育活動周知のため、学校説明会などの広報活動（学校ホームページ等）やマスコミへの積極的な情報提供に努める。
- (2) 観点別評価の実施に伴い、「指導」と「評価」の一体化を実現し、「確かな学力」の育成に取り組み、「単位保留者ゼロ」を目指す。
- (3) 生徒の資質・能力を引き出す活動を積極的に支援し、生徒の希望進路の実現に努める。
- (4) 遅刻指導、身なり指導などを徹底し、社会規範の育成を図る。
- (5) 「総合的な探究の時間」の充実を図るため、年間計画の見直し及び地域人材の活用等、地域連携に取り組む。

- (6) 県教育委員会「環境教育研究指定 (R7・8)」に関して、自然環境科と連携したSDG s の考え方に基づいた授業作りや教科横断的な取組を推進する。
- (7) 県教育委員会 魅力ある学校づくり推進事業「生き生き活性化支援事業」(3年目)の研究を推進し、コミュニティ・スクールに取り組む。
- (8) 校務分掌や業務の効率化に努め、職員の負担軽減及び職場環境の改善に努める。

4 本年度の努力目標

- (1) 入学者確保に向けた取組の強化
 - ① 学区内中学校との情報交換会や学校説明会等で連携を深め、入学者確保に努める。
 - ② P T A、同窓会、地域社会、関係団体と連携を密にして、多様な視点から定員確保に向けた取組の推進を図る。
 - ③ 県外・地区外からの入学者確保のため、学校ホームページ等広報活動の充実を図る。
- (2) 学習指導の充実
 - ① 基礎・基本の定着に務めるとともに、「わかる授業・参加する授業」の工夫・改善を行う。
 - ② 習熟度別学習及び選択制授業の充実を図り、生徒の実態に即して評価し、更なる授業改善に繋げる。
 - ③ 読書活動を推進し「読み・書き・まとめる力」を伸ばす(目標:平均読書冊数10冊以上)。
 - ④ 年間授業計画書を学習方法や評価方法、使用教科書等を追記するなど改善を図る。
 - ⑤ G I G A スクール構想の事業内容を理解し、I C T を活用したオンライン授業等、積極的な端末の活用に努める。
- (3) 進路指導の充実
 - ① 高校3年間を見通した体系的、継続的進路指導の充実を図る。
 - ② 各種検定・資格取得試験や模擬試験、進学及び学力対策講座等の奨励と活用を推進する。
 - ③ キャリアパスポートの活用・充実を図り、キャリア教育を推進する。
 - ④ 定期的に進路講演会を開催し、グローバルな視野を養う。
- (4) 安全教育や健康教育を通じた生徒指導の充実
 - ① 自らの健康に対する意識の高揚と健康教育(食育指導)を充実させる。
 - ② 遅刻や身なり指導を徹底し、基本的な生活習慣及び社会規範の育成を図る。
 - ③ 自らの身を守る安全教育(生活安全・交通安全・災害安全)を充実させる。
 - ④ 成人年齢引き下げによる高校生の消費者被害の未然防止に向け、消費者教育の充実を図る。
- (5) 自然環境科の教育内容の充実
 - ① 地域人材や外部講師の活用に努め、環境関連科目の内容の充実をより一層図る。
 - ② 課題研究や体験活動、総合的な探究の時間の充実を図り、生徒の活動実績を積極的に活用し進路支援に繋げる。
 - ③ 教材園(水辺、昆虫食草、有用植物、岩石園)の整備と活用に努める。
- (6) 普通科の教育内容の充実
 - ① 本年度2年生の学校設定科目「やんばるの自然と生活」を地域と連携して持続可能な授業として

実施できるよう取り組む。

②総合的な探究の時間の学習方法等の充実を図る。

(7) 自主性を育む学校生活の充実

① HR活動、生徒会活動、学校行事等において自主的・主体的に活動する態度を育成する。

② 自主学習の環境を整え、生徒自ら学ぶ雰囲気をつくる。

③ 部活動加入率の向上に努め、少数精鋭による部活動の活性化を図る。

(8) 教育相談等の充実による中途退学、いじめ防止対策の強化

① 担任と教育相談との連携を密にし、教育相談支援委員会の機能・支援体制を強化する。

② 生徒との信頼関係に基づく相談活動で生徒理解を深め、生徒の自己実現を支援する。

③ 保護者との日常的な教育相談に努め、生徒の自己実現に向けた支援体制を強化する。

(9) 教育環境の整備

① 校内緑化の推進と教室内外の清掃の徹底及び地域クリーンアップ作戦の推進。

② 節電・節水の継続的な指導に努め、「持続可能な社会」の推進者の育成を図る。

③ ICTの活用の推進と利用を図る。

④ 学寮、部室等の整備とともに、規則を遵守した利用指導の徹底を図る。

⑤ 「内規」の継続的な改正に努める。

(10) 学校の課題解決に向けた校内研修の充実

① 新学習指導要領に沿った授業改善を図り、「観点別評価」に関する研究を継続する。

② 「自然環境」に関する研究を深め共通理解の場を設定する。

③ 「特別な支援を要する生徒」への理解および指導に関する学習の場を設定する。

④ 教科指導・学級経営・進路指導・生徒指導、カリキュラム・マネジメント等に関する校内研修の充実と実践を図る。

5 各部努力目標

(1) 教務部

①統一目標

- ア. 各部、各学年、各教科、各種委員会との連携を強化する
- イ. 各種校務の効率化を図る
- ウ. 部内の連携を密にする
- エ. 各係の仕事について資料の収集整理と反省を記録する

②企画・日課

- ア. 日々の日課の円滑な運営に努める
- イ. 授業時数の確保に努める
- ウ. 入試事務の体制を整える
- エ. 内規の整備に努める
- オ. 学校紹介の体制を整える

③企画・行事

- ア. 全職員の協力体制のもと学校行事の円滑な運営に努める
- イ. 各行事の内容の充実と精選を図る
- ウ. 行事運営にあたっては、仕事分担を明確にし、連携を密にする
- エ. 各行事の反省を確実に言い、次回の行事運営に生かす

④学籍

- ア. 各係と連携して、諸公簿の整理、各種学籍の手続きを円滑に進める
- イ. 諸公簿の作成要領を周知し、点検・管理を行う

⑤時間割・教育課程

- ア. 時間割編成を工夫する
- イ. 幅広い進路に対応した教育課程の検討と編成を行う
- ウ. 生徒の進路に応じた選択科目の早期決定と調整を行う
- エ. 単位未修得者の把握し、各教科・HR担任との連携を強化する
- オ. 追認考査対象者への指導を充実させる
- カ. 総合的な探究の時間について学年部と連携し、発表会及び辺高祭展示を円滑に進める

⑥情報視聴覚

- ア. 校内LANの有効活用と校務支援システムの安定した運用を図れるようにする
- イ. 視聴覚備品の整備と利用の促進を図る
- ウ. 情報・放送機器の活用を促進する
- エ. 職員と連携して本校ホームページの更新を適宜進める
- オ. 諸公簿の入力管理を学籍と連携して行う
- カ. 判定会議に向け円滑な運用に努める
- キ. ICTを活用し、業務効率化に努める

(2) 生活環境保健部（生徒会・生活指導・寮務・環境教育・環境美化・保健・教育相談）

①生徒会

- ア. 諸行事を通して、生徒会の果たす役割と責任を理解させ、生徒の自治能力を高める
- イ. 生徒会役員（執行部）とホームルームとの連携を密にし、中央委員会を活発にする
- ウ. 広報活動の推進と強化（生徒会だより、横断幕、垂れ幕、のぼり等）

- エ. 生徒会資料の整理と保管を徹底し、生徒会室を有効に利用する
- オ. 部及び同好会の精選を行い、活動の活性化を図る

②生活指導係

- ア. 生活指導について、全職員の共通理解に努め、指導体制を確立する
- イ. 職員と生徒の人間関係を緊密にした指導に努める
- ウ. モラルや基本的生活習慣(特に勤怠面)を身につけさせる
- エ. 違反行為に対する指導の徹底を図る
- オ. 交通安全の意識高揚と、自主的な安全行動の指導に努める
- カ. 関係機関、関係団体との連携に努める
- キ. 問題行動の未然防止及び再発防止に努める
- ク. 部及び同好会の活動やルール・マナー指導の徹底に努める

③寮務

- ア. 定期的な寮内規定の確認・指導を徹底する
- イ. 寮内の施設・設備の充実と効果的な活用に努める
- ウ. 民主的・自主的な寮運営の強化を図る
- エ. 遅刻や欠席の指導を強化し、基本的生活習慣を身につけさせる
- オ. 違反行為に対する指導を徹底する
- カ. 寮内での自主学習の確立を図る
- キ. 宿日直を含めた職員との連携を図る
- ク. 寮内外の美化活動の強化に努める
- ケ. 寮費滞納者への早期対応と解消に努める

④環境教育

- ア. 学校の特色となる環境学習の推進に努める
- イ. 自然環境科アピールのための広報活動の充実に努める
- ウ. 宿泊学習など自然環境科行事及び授業内容の充実に努める。
- エ. 自然環境科の施設の充実と整備を図り、その活用を推進する
- オ. 進路部と連携し、自然環境科の特色を生かした進路先の開拓に努める
- カ. 外部団体と連携した教育活動の充実

⑤環境美化・施設

- ア. 施設設備の定期的な点検及び整備の充実に努める
 - a 定期点検と整備
 - b 節水・節電の対策と啓発
 - c ゴミ捨て場の管理
- イ. 校内衛生の管理と清掃活動の指導に努める
 - a 清掃用具の充実・管理
 - b ゴミの分別等の指導
- ウ. 校内緑化の推進・管理に努める
 - a 校内の花木の整備
 - b 美化委員会を中心とした環境美化活動の充実
 - c 自然環境科との連携による緑化の維持

⑥保健係

- ア. 生徒・職員の自発的な健康管理を図る
- イ. 健康診断の全員受診を徹底する

- ウ. 健康診断後の適切な指導と健康相談の充実に努める
- エ. 健康課題に対する保健教育の充実にを図る
- オ. 学校保健委員会の活性化に努める
- カ. 地域、医療機関、関係機関との連携を図る
- キ. 保健室の施設整備の充実に努める

(3) 進路指導部

①基本目標

個性（特性）と能力及び適性に応じた将来の進路を選択する能力を養い、自主的に自らの進路を早期決定し、意欲的に自己実現を目指す生徒を育成する

②具体的な取り組み

- ア. 生徒の自主性を尊重した進路指導の充実
- イ. 学級担任と連携を密にし、各学年に応じた進路指導を推進
- ウ. 進路相談・個別指導に力をいれ、生徒の個性（特性）と能力および適性に応じた進路指導に努める
- エ. 生徒のニーズに応えた課外講座の開設。生徒の自主学習時間の充実や環境の整備を図る
- オ. 学級担任を通して高等学校在学奨学金制度及び進学予約奨学金制度の情報を提供する
- カ. 上級学校の学校説明会や会社説明会等の進路に関するガイダンスへの積極的な参加を奨励し進路に対する意識の醸成に努める
- キ. ハローワーク等との連携を密にし、個人面談等を実施しながら就職希望者の個に応じた進路指導を展開する
- ク. マナー指導（基本的なあいさつ、言葉遣い、身なり）の徹底を図る

6 各学年の努力目標

(1) 1 学 年

- ①基本的な生活習慣を身につけさせる
 - ア. 勤怠指導の徹底
 - イ. 服装容儀の徹底
 - ウ. 清掃活動の徹底
 - エ. 挨拶および基本的マナーの徹底
- ②基礎学力の向上を図る
 - ア. 学習用具を整え、教室の整理整頓に努める
 - イ. 学習意欲の向上に努める
 - ウ. 各種検定の推進
- ③HR活動の活性化を図り、生徒の自主・自発的活動を育む
 - ア. キャリアパスポートの活用を図る。
- ④学年活動の活性化を図り、生徒の自主・自発的活動を育む
- ⑤自己理解や職業理解を図り、将来の進路への意識付けに努める

(2) 2 学 年

- ①基本的な生活習慣の定着
 - ア. 勤怠指導の徹底
 - イ. 服装容儀の徹底
 - ウ. 清掃活動の徹底
 - エ. 挨拶および基本的マナーの徹底
- ②基礎学力の向上を図る
 - ア. 学習用具を整え、教室の整理整頓に努める
 - イ. 学習意欲の向上に努める
 - ウ. 各種検定の推進
- ③総合的な探究の時間等を通じ、進路に対する目的意識を高める
- ④学校行事に積極的に取り組む姿勢を育て、自主性、協調性、社会性を身につけさせる
- ⑤HR活動の活性化を図り、生徒の自主・自発的活動を育む

(3) 3 学 年

- ①基本的な生活習慣を確立させる
 - ア. 勤怠指導の徹底
 - イ. 服装容儀の徹底
 - ウ. 清掃活動の徹底
 - エ. 挨拶および基本的マナーの徹底
- ②基礎学力の向上を図る
 - ア. 学習用具を整え、教室の整理整頓に努める
 - イ. 学習意欲の向上に努める
 - ウ. 各種検定の推進
- ③卒業に向けて全科目の修得を目指す
- ④職員、保護者、進路指導部と連携し個に応じた進路指導と進路の早期決定を図る
- ⑤最上級生としての自覚を促し、学校生活をリードする自主性・社会性を育てる

7 各教科の努力目標

各教科、生徒の理解度に合わせた授業や課題等の取り組みを行い、単位保留者ゼロをめざす

(1) 国 語 科

- ①語彙力の系統的、継続的な指導によって基礎学力の向上を図る
- ②学力に応じた効果的な授業方法と評価の工夫を図る
- ③漢字検定の推進と指導の充実を図る
- ④生徒の実態に合わせた支援をしつつ、主体的に学習する態度の育成に努める

(2) 地 歴・公 民 科

- ①地歴・公民科目の学習内容に対する興味・関心を高めさせ、基本的知識の習得や深い学びの実現につながるよう努める
- ②校外学習（フィールドワーク）などを通して知識の定着と思考力の育成に努める

- ③ICT や視聴覚教材を積極的に活用し、思考力・判断力・表現力の育成に努める
- ④主権者教育・SDGs 教育・平和教育の推進に努める
- ⑤進路対策(早朝講座・放課後講座)の充実に努める
- ⑥生徒自ら自主的、主体的に取り組める授業の展開

(3) 数 学 科

- ①基礎学力の向上を目指し、分かる授業、生徒が積極的に参加出来る授業の研究に努める
- ②少人数展開授業に応じた効果的な授業方法と評価方法の研修を行う
- ③教育課程の研究に努める

(4) 理 科

- ①実験・実習を通して科学的な技能を身につけさせる
- ②地域の材料を使った教材研究に努める
- ③理科施設と理科備品の充実に努める
- ④教科研修の充実に努める
- ⑤生徒の進路対策講座の開設・充実に努める

(5) 自 然 環 境 科

- ①自然環境の学習を充実させる
- ②施設と備品の充実に努める
- ③教材研究とワークシートの充実に努める
- ④他教科との連携を深める
- ⑤野外実習での体験活動を充実させる
- ⑥進路指導を充実させる
- ⑦科目を通して生徒の発表力を高める
- ⑧校内研修を充実させる
- ⑨SDGs（持続可能な開発目標）に向けた取組を推進する
- ⑩環境教育指定校として学校全体での取組を推進する
- ⑪生徒の主体性を伸ばす探究活動

(6) 保 健 体 育 科

- ①自主的・組織的な学習活動を通して、社会性を高めると共に、基礎体力の向上を図る
 - ア. 運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるように配慮する
 - イ. 公正、協力、責任感などの態度を育てるとともに、リーダーの資質を高め生徒主体での、体育的行事等の運営が出来るようにする
 - ウ. 集団の一員としての自覚を持ち、秩序を正し、互いに協力し合う態度を育てる
- ②環境科目「野外の活動」においては、豊かな自然環境の中での学習活動を通して、自然に親しみ、活動することの喜びを体感する。また、自ら取り巻く自然環境や生活環境に「気づき、大切に」心育てる
- ③体験的な学習活動を通して、健康の大切さを深く認識させると共に、望ましいライフスタイルを確立するための知識や手法を身につけさせる

④体育施設の整備・充実と安全管理

- ア. 体育施設、設備、備品の適切な管理及び充実を図る
- イ. プール・運動場の定期的な安全点検・整備・充実を図る
- ウ. 体育館、武道場の定期的な安全点検・整備・充実を図る

⑤施設、設備、備品等の適切な取り扱いに十分留意する。また、正しい使用方法及び、ルール・マナーの遵守の指導を徹底する

⑥SDGs（持続可能な開発目標）に向けた取組を推進する

(7) 芸術科

様々な活動を通して、自らの思いや意図を表現する力を養うとともに、他者の表現からよさや美しさを感じ取ることができるようになることを目指す

◎音楽

- ①歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動を通して、知識や技能を身に付け、意図をもって音楽を表現することを目指す
- ②多様な音楽文化や伝統、現代の音楽などに触れ、音楽を豊かに味わい、芸術文化と主体的に関わろうとする態度を養う

◎美術

- ①描く・作る・デザインするなどの活動を通して、視覚表現に必要な知識や技能を深め、自らの意図を込めた作品づくりに取り組む
- ②多様な美術作品や文化に触れ、その意味や価値を考えながら鑑賞することで、美術をより深く味わい、芸術文化と豊かに関わる態度を養う

(8) 英語科

- ① 英語基礎力の定着
- ② 積極的にコミュニケーションを図る態度の育成
- ③ ALTと連携した効果的なTTの実施
- ④ ICTを活用した授業実践
- ⑤ 検定やコンテスト等の対外的な活動への意識を高める

(9) 家庭科

生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせ、実践的・体験的な学習を通じて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す

- ① 実験・実習を通して生活に必要な知識と技術を身につけさせる
- ② 被服実習においては、全員が作品を提出できるようにする
- ③ 施設・備品の充実と効果的利用
- ④ 実験・実習時の安全管理に努める

(10) 情報科

- ① コンピュータや情報通信ネットワークの活用を通して情報活用能力の育成を図る
- ② 情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報モラルの育成を図る
- ③ 各種情報検定試験の取り組みを体系化し、実務的なスキルの育成を図る